秋田県鹿角市

ぎかいだより

令和８年11月１日発行

９月定例会

No. 130





副市長再任案含む議案１３件を可決 ・・・・Ｐ２

一般質問には９名が登壇 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ４

各常任委員会の審査状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ８

市民と語る会開催報告・各常任委員会派遣調査報告・・・Ｐ９

ＮＡＮＤＡＲＩＫＡＮＤＡＲＩ・編集後記・・・ Ｐ10

９月定例会

舛屋副市長再任案を含む議案13件を可決

９月定例会

令和８年第５回定例会を８月26日から９月17日までの23日間の日程で行い、市長より報告３件、諮問２件、議案13件、認定６件が上程され、決算特別委員会で審査する認定４件以外を原案のとおり同意・可決し、陳情１件については不採択としました。

本定例会に提案された議案等の審議結果の一覧を次ページに掲載しています。

なお、本定例会において適任とした人事案件は次のとおりです。

人事案件

○人権擁護委員

柳澤正子 氏（再任）

湯瀬正子 氏（再任）

主な議案の審議内容

鹿角市まちなかオフィス条例の一部改正について

質問 レンタルオフィスＡを区画分割し、小規模化するとのことだが新たな入居の見込みはあるのか。

答弁 現在10人規模の企業が使用し、スペースに余裕が生じている。利用しやすい規模へ分割することで既存企業の適切な環境整備と新たな誘致企業を受け入れる材料として活用したい。

副市長の選任について

本年10月末日をもって任期満了となる副市長選任案件が提案され、全会一致で原案同意となり、舛屋副市長が再任となりました。

○副市長
舛屋　修美　氏
（再任）



決算特別委員会を設置し決算を審査

令和７年度一般会計歳入歳出決算等の認定案件４件について、定例会最終日に決算特別委員会を設置し、議会閉会中の10月５日及び６日の２日間にわたり、審査を行いました。

委員からの質疑・意見等の詳細な審査内容については次号（２月１日発行）でお知らせします。

◆決算特別委員（９名）

委員長	綱木　裕一
副委員長	成田　哲男
委員	田村　富男
	宮野　和秀
	栗山　尚記
	舘花　一仁
	保田　直美
	佐藤　大介
	松村　託磨

市民アンケートを実施しています

議会広報委員会ではぎかいだよりを通じて市民の皆様に議会活動及び審議の内容を分かりやすくお伝えすることを目指してきました。

今後もより皆様にわかりやすいぎかいだよりを目指すため、第１２７号より紙面の内容や構成について皆様の意見を伺うアンケートを実施しています。「この記事に興味を持った」、「ここが分かりにくい」など、率直な声をお聞かせください。いただいたご意見は今後のぎかいだより作成のために活用させていただきます。

ぎかいだよりアンケートはこちらから

傍聴のご案内

議場での傍聴は、市議会の活動内容を知るための最も身近な方法です。

市議会の本会議は一般の方に公開されており、本会議当日に市役所３階で受付をしていただければ、どなたでも傍聴することができます。

議場内での携帯電話・スマートフォンの使用は禁止しております。傍聴の際にはご協力をお願いいたします。

令和８年第５回鹿角市議会定例会において審議した議案等の審議結果

◇市長提出議案	審査結果
専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報告
令和7年度鹿角市健全化判断比率について	報告
令和7年度鹿角市資金不足比率について	報告
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
専決処分の承認を求めることについて（令和8年度鹿角市一般会計補正予算（第4号））	承認
鹿角市監査委員に関する条例の一部改正について	原案可決
鹿角市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	原案可決
鹿角市まちなかオフィス条例の一部改正について	原案可決
鹿角市景観条例の一部改正について	原案可決
鹿角市水道事業の設置等に関する条例及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の一部改正について	原案可決
令和7年度鹿角市上水道事業剰余金の処分について	原案可決
令和8年度鹿角市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
令和8年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
副市長の選任について	原案同意
工事請負契約の変更について（鹿角市交流センター大規模改造工事（第2期建築工事））	原案可決
令和8年度鹿角市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
令和7年度鹿角市上水道事業会計決算認定について	認定
令和7年度鹿角市下水道事業会計決算認定について	認定
令和7年度鹿角市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
令和7年度鹿角市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
令和7年度鹿角市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
令和7年度鹿角市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇陳情	**審査結果**
ツキノワグマの市街地への出没増加対策の財源として、森林環境譲与税の積極的活用を検討することを求める陳情	不採択

一般質問

一般質問 舘花一仁議員（鹿真会・公明）

問 産科・小児科など市外医療機関を受診する市民への移動支援を今後どう進めるのか伺う。

答 シャトルバスや交通費助成を検討し、医療ビジョンに示し、令和9年度からの段階的な実施を目指す。



人口流出の抑制と子育て世帯に選ばれるまちづくりについて

問 八幡平なかよしセンターは児童が20人を下回る見込みのみで閉園とするのか。小規模保育事業への移行や市の財政支援を含む存続案を検討し、閉園案との比較、判断基準を示す考えを伺う。

答 令和11年度には20人未満と見込む。小規模保育事業等への移行は指定管理者や地域住民の意向を踏まえ、必要と判断した場合、運営方法や経費を試算し、成案化の検討で示したい。再編計画案は本年12月に示す。

学校再編と新たな教育環境について

問 学校再編を進める最大の目的と再編で実現しようとする教育環境を伺う。

答 公共施設の削減や財源効率化の視点ではなく、一定の学習集団を確保し、最良の教育環境を整えることを目的をしている。

問 統合前の交流学習、統合後の学級編制、相談支援をどのように進めるのか。

答 統合協議会で交流学習や学級編制等を協議する。スクールカウンセラーの相談体制を引き続き活用し、不安の解消に努める。

舘花　一仁 議員（鹿真会・公明）
質問時間 60分

質問した項目
■学校再編と新たな教育環境について
■人口流出の抑制と子育て世帯に選ばれるまちづくりについて　■人口減少下における財政運営と地域サービスの維持について

舘花一仁議員

録画配信はこちらから

一般質問 湯瀬弘充議員（新時代かづの）

問 豪雨災害時の道路冠水や車両水没の危険箇所と放置車両への対応について伺う。

答 冠水箇所を周知し、関係機関と連携して通行規制や道路啓開体制を強化する。

湯瀬　弘充 議員（新時代かづの）
質問時間 45分

質問した項目
■災害対策について
■子育て・教育環境の将来像について



子育て・教育環境の将来像について

問 学校や保育所、児童クラブの個別再編ではなく、鹿角市の子育て・教育環境の将来像を示し、部局横断で進めるべきと考える。北部・南部に小中学校を配置する選択肢や、施設がなくなる地域の将来政策を一体的に検討できないか。

答 北部でも将来的に1学年10人以下と小規模化が進むため、一定の学習集団を確保する観点から小中各1校への集約を進める。地域衰退の懸念も認識しており、交通や生活機能、跡地活用などの地域政策を一体的に進め、合意形成を図る。

問 再編後のスクールバスについて、通学時間やルート、冬期間や熊出没時の安全対策をどう検討するのか。また、統合前に具体案を保護者や地域住民に示す考えを伺う。

答 現在の通学支援制度を基本に安全面を考慮してルートやバス停を設定する。試算では最長で冬季約40分となり、国の目安のおおむね1時間以内に収まる。今後は全体的な通学時間の目安も示しながら計画を検討していく。

※啓開　☛災害時に緊急車両通行のため、障害物等を取り除き進行可能とすること

湯瀬弘充議員

録画配信はこちらから

一般質問　宮野和秀議員（誠心会）

宮野　和秀 議員（誠心会）

質問時間 30分

質問した項目
- 鹿角市医療ビジョンについて
- 森林環境譲与税について
- 耕作放棄地について
- 本年度の除雪計画と県道2路線の廃止等について



本年度の除雪計画と県道2路線の廃止等について

問 除雪体制や協議、運転要員は確保できるのか。

答 高齢化によるオペレーターの退職などにより、減少が見込まれるため事業者と協議中である。除雪路線を変更する場合は、9月末までに自治会等と協議し、11月に向けて除雪計画を策定する。

問 県では、県道2路線の廃止や管理レベルの引き下げを検討するとのことだが、完全に閉鎖されるのか、市長の認識を伺う。

答 6月県議会の報告では、県管理道路同水準での維持管理が将来的に困難であることから、廃止・引き下げを検討しており、本市では比内大葛鹿角線、田山花輪線の2路線、また冬期間の維持管理レベルの引き下げは3路線が検討対象となっている。

廃止等は決定した事項ではないとのことであるが、本市としても対象路線は重要な路線と捉えており、沿道に居住者がいないことを理由とした廃止等は許容できない。県による適正な管理を継続いただくよう協議していく。

問 かづの厚生病院の位置づけや今後の方向性をどう考えているか。

答 将来的に、開業医が減少した場合のかかりつけ医機能のほか、救急外来機能の維持が重要であり市もこれを支援していく。

宮野和秀議員

録画配信はこちらから

一般質問　松村託磨議員（無会派）

松村　託磨 議員（無会派）

質問時間 30分

質問した項目
- 山水・井戸水等を利用する地域の生活用水の管理と継承について
- 地域公共交通と住民ニーズの把握について



山水・井戸水等を利用する地域の生活用水の管理と継承について

問 山水・井戸水等の生活用水について、管理者の高齢化や後継者未定、水源維持への懸念等、水が止まる前段階の不安も市に相談できるよう利用者へ周知する考えはあるか。また、自治会を通じた案内など、実際に水を利用している方へ届きやすい方法を検討する考えはあるか。

答 生活用水に関する相談は、現在も上下水道課で随時対応している。水が止まるなどの事態に至る前でも、維持管理に不安がある場合は早めに相談いただきたい。周知は広報やホームページを基本により効果的な方法も検討していく。

地域公共交通と住民ニーズの把握について

問 地域公共交通ワークショップは中高生や保護者、子育て世帯、働く世代、障がいのある方等も参加し、通学・送迎等のニーズを伝えられるか。

答 ワークショップは地域に住む方なら誰でも参加でき、年齢や生活状況を問わず意見を出す事ができる。いただいた意見は運行方式や運行時間等の検討材料とする。

問 山水・井戸水の管理者高齢化や後継者未定の不安を、水が止まる前に相談できるか問う。

答 生活用水の相談は上下水道課で随時対応しており、広報・ホームページを基本に周知方法も検討していく。

松村託磨議員

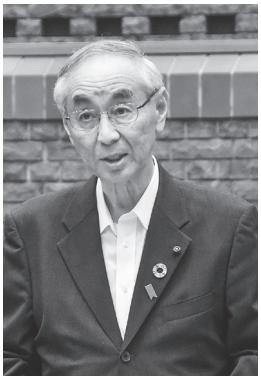
録画配信はこちらから

一般質問

一般質問　兎澤祐一議員（鹿真会・公明）

問　認知症の当事者や家族等が早い段階で様々な情報共有を相談ができるよう、認知症ピアサポート環境の整備が重要と考えるがいかがか。

答　相談支援機関と連携し、認知症カフェや認知症本人ミーティングを開催している。



認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

問　認知症の行方不明者対策としてGPS端末活用に向けた負担軽減やQRコードシールの普及など、一人ひとりの生命を守る取り組みを推進すべきと考えるが、見解を伺う。

答　認知症の方の行方不明時の早期発見・保護に向け、平成29年度から「鹿角市認知症高齢者等お守りシール事業」を実施し、令和3年度からはQRコード付きの「ココいるシール」を導入している。

発行者数は75人であり、シールによって早期保護につながった事例も確認されている。

災害発生後の対応について

問　本市では、災害発生時における他自治体からの人的支援やボランティア受け入れのための受援計画を策定しているか伺う。

答　現在、具体的な受援計画の策定作業を進めている。昨年の秋田県総合防災訓練で得られた課題や、近年の大規模災害対応における被災自治体の事例等も参考にしながら、災害発生時の円滑な受援活動につながる計画となるよう取りまとめていく。

兎澤　祐一　議員　（鹿真会・公明）

質問時間　30分

質問した項目
- ■災害発生後の対応について
- ■認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

録画配信はこちらから

一般質問　赤坂　勲議員（新時代かづの）

問　スポーツ大会の来場者を地域内消費につなげる仕組みを整えられないか。

答　地域経済活性化に資する重要施策と認識し、国スポ等ではブース設置や観光PRを行っている。中小規模大会も費用や効果を含め検討する。



スポーツ施設の環境整備とスポーツを活用した観光戦略について

問　近年の猛暑を踏まえ、屋内体育施設に除湿・冷却性能を備えたスポットクーラー等を整備し、大会時や避難所開設時にも柔軟に活用できないか伺う。

答　暑熱対策は喫緊の課題と認識している。アルパスでは大型冷風機を導入しており、その効果や施設の利用状況を検証しながら、他施設への導入を検討する。今後の冷却機器整備では、防災面での活用も考慮して必要な機能を検討する。

冷涼な気候を生かした「避暑滞在戦略」について

問　全国的に猛暑・酷暑が続く中、本市の冷涼な気候を地域資源として捉え、「クールかづの」として避暑や短期滞在につなげる観光戦略を展開できないか伺う。

答　朝晩の過ごしやすさや空気の清涼感など、本市の気候条件は夏の滞在や交流を呼び込む誘因の一つになり得る。一方、同様の気候条件を持つ地域もあるため、突出した優位性を見出すことは難しく、政策の柱とすることは容易ではない。

赤坂　勲　議員　（新時代かづの）

質問時間　30分

質問した項目
- ■スポーツ施設の環境整備とスポーツを活用した観光戦略について
- ■冷涼な気候を生かした「避暑滞在戦略」について

録画配信はこちらから

一般質問　佐藤大介議員（鹿真会・公明）

問　公立保育所等再編計画の策定と併せて、保育士等職員の処遇について親身で丁寧な対応を求める。

答　保育サービスのさらなる充実を図り、雇用への影響を最小限に抑えるよう配慮する。



中学校部活動の地域展開について

問　地域展開の現状と将来への方向性について伺う。

答　現在、部活動地域展開推進委員会での協議、コーディネーターの配置、モデル団体活動実証事業などに取り組んでいる。実証事業では6活動において、学校以外の団体が休日等の活動や指導を行い、活動ごとの課題の検証を実施している。さらに「指導者バンク制度」など指導者の確保と指導体制の充実を図り、中学校教職員の負担軽減につなげている。令和11年度には全ての運動部の休日等の活動、さらに将来は、全ての活動を地域クラブとして展開していくことを目指す。

リチウムイオン電池等の試験回収の結果について

問　8月の試験回収結果と今後の方向性について伺う。

答　101人分、42キログラムを回収し、「処分に困っていた」「今後も続けてほしい」などの声もあり、一定の市民ニーズを確認した。課題となっている発火事故への対策も一定の道筋が見え、来年度以降もリチウムイオン電池等の回収に取り組む。

佐藤　大介 議員　（鹿真会・公明）

質問時間 30分

質問した項目
- ■中学校部活動の地域展開について
- ■鹿角高等学校魅力化推進事業と大会遠征費支援について
- ■保育園等の統合に伴う指定管理者との調整について　ほか

佐藤大介議員

録画配信はこちらから

一般質問　保田直美議員（無会派）

問　本市が保有・利用するＩｏＴ機器の管理とサイバーセキュリティ対策について伺う。

答　ＩｏＴ機器について、何らかの脅威が想定される場合には、機器の特性に応じた対策を講じ、対応していく。

保田　直美 議員　（無会派）

質問時間 45分

質問した項目
- ■本市の「デジタル教科書」導入における教育のデジタル化の在り方とその問題について
- ■鹿角市における再生可能エネルギー設備及びＩｏＴ機器のサイバーセキュリティ対策について



鹿角市における再生可能エネルギー設備及びＩｏＴ機器のサイバーセキュリティ対策について

問　令和9年度から国は太陽光発電設備等に制御システムへのサイバーセキュリティ対策の強化を求めているが市はどう認識し、対応するのか伺う。

答　ＪＣ－ＳＴＡＲはＩｏＴ製品に求められるセキュリティ要件への適合状況を確認・可視化する制度であり、事業者等から相談があれば、内容に応じ適切な関係機関につないでいく。

本市の「デジタル教科書」導入における教育のデジタル化の在り方とその問題について

問　デジタル機器の日常的な使用環境の整備や児童生徒の視力低下・健康面への影響について考えを伺う。

答　児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育のほか、目の健康に関する集会の開催、長時間利用を控えることを目的としたノーメディアの日を設けている。今後も注意喚起を継続するとともに、児童生徒自身がデジタル機器の利用について安全に活用する力を身に着けられるよう、情報モラル教育の充実に努める。

保田直美議員

録画配信はこちらから

※ＪＣ-ＳＴＡＲ　☛　セキュリティ機能が基準を満たしているかを評価し、ラベルとして可視化する制度
※ＩｏＴ機器　☛　インターネットに接続し、データを収集分析し遠隔操作や自動制御を可能にする機器のこと

一般質問

問　風力発電に関わる鹿角市環境保全審議会は政策論ではなく科学的根拠に基づき、明確に意見や是正の求めを示すべきではないか。

答　予測評価や保全措置の妥当性を検証しており、審議会の役割は果たされている。



市長の風力発電事業賛否についての「中立」発言について

問　令和６年９月・12月の私の一般質問に対する答弁は、議事録に記録された市の公式見解か。

答　当時の状況や事実関係を踏まえ、執行機関としての考え方を申し上げた市の見解であり、発言内容は議事録に記録されていると認識している。

問　議会答弁は訂正等が行われない限り、現在も行政の立場として有効と理解してよいか。

答　その時点の状況等を踏まえ、執行機関の考え方を説明したものであり、過去の答弁が将来にわたり行政の立場を拘束するものではないと認識している。

問　令和６年の答弁は事業受け入れを前提とした行政姿勢と受け取れるが、市長の「中立」発言と論理的に整合しないのではないか。どの部分が整合しないのか伺う。

答　これまでの市の対応と現在の立場との間に整合しない部分はないものと認識しており、具体的に示すものはない。

丸岡　孝文　議員　（無会派）

質問時間　45分

質問した項目

■市長の8月24日定例会見での保育所等再編の発言について　■2027年4月からの消費税減税による当市の農業環境への影響について　■風力発電に関わる鹿角市環境保全審議会の審議について　ほか

丸岡孝文議員

録画配信はこちらから

委員会審査ズームアップ

[議案第85号]鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の一部改正について

問　消防団員の定数改正後の消防力、災害対応力への影響は。

答　今回の改正は現行の実員を減らす目的ではないため、災害時の活動や避難誘導に要する人数は確保されている。今後、消防機材の台数も見直す予定だが自主防災組織や自治会への機材の譲渡のほか、機能別消防団結成の取組等により地域の災害対応力を維持していく。

[議案第87号]令和8年度鹿角市一般会計補正予算（第5号）

問　（二地域居住促進事業）「二地域居住促進事業」の補正内容は。

答　県とＡＮＡが連携し、二地域居住のモニター調査にあたり県で航空費用を助成するもの。鹿角市も選定され、本市へ来ていただくために二次交通や滞在中の移動を補助するものである。

[議案第87号]令和8年度鹿角市一般会計補正予算（第5号）

問　（市民センター管理費）尾去沢市民センター正面入り口屋根の破損原因は。

答　破損箇所は屋根の継ぎ目で雪が集まりやすく落雪しづらい箇所だったことで屋根トタン部分が破損し、雨漏りが生じたものである。
（意見）今後同じような降雪の際に破損することがないよう、工夫いただきたい。

[認定第1号]令和7年度鹿角市上水道事業会計決算認定について

問　上水道事業の有収率が83.6%で5年前との比較で14ポイント上がっているが、経営改善に向けてどのような取組を行っているのか。

答　有収率増の要因として、漏水の多い箇所の管更新を重点的に行い、漏水事故件数が減少したこと、定期的に区域を決め、業務委託による路面音響調査等を行い、漏水個所発見の際は速やかに修繕していることで効果が出てきているものである。

市民と語る会開催報告

「市民と語る会」を開催しました

7月21日、鹿角市文化の杜交流館コモッセ講堂にて、市民と語る会を実施しました。

今回は、昨年以降の風力発電事業全般を取り巻く環境の変化を踏まえ、申請団体である青垣山の自然と景観を守る会及び青垣山の自然を後世に残す会より事前に出された「青垣山における風力発電計画への賛否を問う」をテーマに議員及び参加者約90名と意見交換を行いました。

この度いただいた沢山のご意見については、各議員の今後の議員活動の参考とさせていただきます。

なお、当日の様子につきましてはホームページに報告書を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

市民と語る会

常任委員会派遣調査報告

総務財政・教育民生常任委員会合同派遣調査

9月10日、十和田中学校にて市内小中学校全校に設置された気化熱冷風機及びタブレット端末の授業内での活用状況について、総務財政・教育民生常任委員会の委員で調査を行いました。

気化熱冷風機は体育館に2台設置されており、導入後は夏季の体育の授業や部活動等で活用されているとのことでした。実際に電源を入れてもらうと体育館内の温度が下がり、近年の猛暑への対応策として大変有効であると実感しました。



タブレット端末の授業内での活用状況については、英語及び数学の授業の様子を見学し、デジタル端末と教科書の併用により、生徒が主体的に学ぶ姿を見ることができました。

どちらの設備についても今後の更なる活用が期待されます。

産業建設常任委員会派遣調査

9月11日に桃枝橋の架替えスケジュールについて及び馬見平放牧場の運営について調査を行いました。

桃枝橋については、令和6年7月の大雨災害で橋台が沈下したことにより現在通行止めとなっているものです。

今回の視察では、現地の状況を確認するとともに、担当課より今後の架替え工事の計画を伺うことで設備計画全体の理解を深めました。また、除雪業者や運送業者、周辺地域の農家等が不便を被っていることも再確認しています。

馬見平放牧場については、小割沢自治会館前にて概要説明を受けた後、放牧場の見学と指定管理者からの説明を受けました。

説明内容や見学を踏まえ、畜産農家の減少に対する対応が今後の市の喫緊の課題であるとの認識を深めることができました。



教育民生常任委員会派遣調査

9月11日に市内スポーツ施設設備の状況調査及び本市におけるリチウムイオン電池回収状況について調査を行いました。

水晶山ファミリースキー場では、施設の運営方針や経営に係る予算、今後の方向性についてを伺った後、施設を見学しております。施設の見学等を通して施設を生かすための新たな支援策や新たな取組の検討が重要と感じました。

リチウムイオン電池の回収については、令和8年8月に約1カ月実施しており、その結果や、今回実施したことを踏まえての今後の方向性等について伺うことができました。リチウムイオン電池は様々な家電製品に使用されているものの、劣化した際に重大な事故につながる可能性があることからも、今後の更なる取り組みの充実や周知の重要性を感じました。



秋田県鹿角市 ぎかいだより
130号
令和８年11月１日号

まちのことをゆる～く解説

Nandari Kandari

鹿角市議会　なんだりかんだり

VOL.4

一般質問ってなぁに？

～市民の「気になる」を議場に届ける時間～

「これは、市民の声をもとにした質問です。」

一般質問は、こんな一言から始まることもあります。
市長の提案や市の取り組みに対して、
議員が疑問を投げかけ、考え方をただす。

鹿角市議会の一般質問は、議員が自由にテーマを選び、
市政の現状やこれからの方向性を問う場です。

質問の内容は、暮らしに身近なものが多くあります。
除雪のこと、子育てのこと、学校や福祉のこと。

「どうしてこうなっているのか」「これからどうしていくのか」
市民の立場に立って、順番に言葉にしていきます。
一般質問は、対立の場ではありません。
まちの現状を確かめ、より良い方向を探すための、
大切な対話の時間です。



クイズコーナー　○×でわかる一般質問のこと

01 一般質問では、議員が自由にテーマを決めて質問できる。
→ ○ 議員が選んだテーマについて、市の考え方を質問します。

02 一般質問は、市長に反対するためだけの時間である。
→ × 目的は対立ではなく、確認や改善につなげることです。

03 一般質問で取り上げられる内容は、国の政治が中心である。
→ × 市の身近な課題が多く取り上げられます。

04 一般質問のやり取りは、市民も後から確認できる。
→ ○ 会議録などで、質問と答弁を読むことができます。

ひとこと

一般質問は、議員一人ひとりが、市民の声を代弁する時間です。
質問を通して、市の考え方が見え、課題が整理されていきます。
議会を身近に感じる入口の一つです。

12月定例会の日程(予定)

11月30日(月) 開会日
12月14日(月)
　一般質問(1日目)
12月15日(火)
　一般質問(2日目)
12月16日(水)各常任委員会
12月23日(水) 閉会日

※日程の変更はＨＰでお知らせいたします。

編集後記

議会広報の編集をしていると、「伝えた」と「伝わった」は違うのだと感じます。どれだけ丁寧に書いても、読んでもらえなければ届きません。

一方で分かりやすさを優先するあまり、大切な部分を削ってしまってもいけません。

正確に伝えることと、読みやすいこと。その両方を大切にしながら、どうすれば思わず目を留め、続きを読んでもらえるのか。紙面を確認するたびに考えさせられます。

少しでも「読んでみよう」と思っていただけるよう、読む方の立場を意識しながら、これからも工夫を重ねていきたいと思います。

（松村）

発行　鹿角市議会
編集　議会広報委員会
印刷　川嶋印刷株式会社

〒018-5292
秋田県鹿角市花輪字荒田４番地１
TEL 0186-30-0280
✉gikai@city.kazuno.lg.jp